

パナマ共和国 カルロス・ペレ大使の表敬訪問

この度当協会はパナマ共和国のカルロス・ペレ大使らの表敬訪問を受け、明珍会長と面談を行いました。概要は以下の通りです。

【面談概要】

日付：2023年7月20日（木）

場所：川崎汽船

出席者：

パナマ）カルロス・ペレ大使、サミュエル・ゲバラ セグマル東京チーフ、他
日本船主協会）明珍幸一会長、他

冒頭、明珍会長より IMO の次期事務局長にパナマのアルセオ・ドミンゲス氏が選任されたことに祝意を表すとともに、ドミンゲス氏の長年に渡る IMO での貢献と優れた行動力を活かし、一層の活躍されることを期待していると述べました。

これに対しペレ大使からも、各方面からの支援に対する感謝とともに、同氏が環境問題をはじめ海運への深い知見を有しており、引き続き事務局長として優れた仕事を果たすことを確信していると述べられました。

また明珍会長より今年には池田前会長が船協会長として初めてパナマを訪問し、パナマ大統領との面会が行われるなど、パナマ政府と当協会との関係は一層緊密となっており、今後も海運業界と世界経済の健全な発展に向け、良好な関係を維持していきたいと述べ、ペレ大使からも今回のパナマ訪問により両者の関係性はより堅固なものとなったと評しました。

その他、パナマ運河通航料、エルニーニョ現象による深刻な水不足がパナマ運河に及ぼす影響、新たな水源確保に向けた対策と費用負担などについて意見交換を行い、最後に今後の関係維持を改めて確認しました。



面談の様子



ペレ大使（左）と明珍会長（右）